

電子添文改訂のお知らせ

2025年10-11月

抗サイトメガロウイルス化学療法剤

劇薬、処方箋医薬品^{注)}

プレバイミス[®] 点滴静注240mg
(レテルモビル注射液)

注) 注意－医師等の処方箋により使用すること

このたび、標記製品の電子添文を以下のとおり改訂しましたのでお知らせいたします。
今後のご使用に際しましては最新の電子添文をご参照くださいますようお願い申し上げます。
弊社製品のご使用にあたって、副作用等臨床上好ましくない事象をご経験の際には、弊社MRまでご連絡くださいますようお願い申し上げます。

MSD 株式会社

《改訂概要》

改訂項目	改訂内容
14.2 配合変化	本剤との配合禁忌薬剤として『ロラゼパム』を追記しました。

- ・ 今回の改訂内容は医薬品安全対策情報（DSU）No.340（2025年11月）に掲載されます。
- ・ 改訂後の電子添文全文は、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」（<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html>）及び弊社ホームページ（<https://www.msconnect.jp/>）に掲載しております。
- ・ 添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて、以下のGS1バーコードを読み取ることで、PMDAホームページ上の最新の電子添文等をご覧いただけます。

プレバイミス点滴静注（MSD）



(01)14987185810286

《改訂内容》

改訂後	改訂前
14. 適用上の注意 14.1 略（変更なし） 14.2 配合変化 略（変更なし） 主な配合禁忌薬剤：アミオダロン塩酸塩、アムホテリシンBリ ボソーム、アズトレオナム、セフェピム塩酸塩、シプロフロ キサシン、シクロスポリン、ジルチアゼム塩酸塩、フィルグ ラスチム（遺伝子組換え）、ゲンタマイシン硫酸塩、レボフロ キサシン、リネゾリド、ロラゼパム、ミダゾラム、オンドン セトロン塩酸塩、パロノセトロン塩酸塩 14.3 略（変更なし）	14. 適用上の注意 14.1 略 14.2 配合変化 略 主な配合禁忌薬剤：アミオダロン塩酸塩、アムホテリシンBリ ボソーム、アズトレオナム、セフェピム塩酸塩、シプロフロ キサシン、シクロスポリン、ジルチアゼム塩酸塩、フィルグ ラスチム（遺伝子組換え）、ゲンタマイシン硫酸塩、レボフロ キサシン、リネゾリド、ミダゾラム、オンドンセトロン塩酸 塩、パロノセトロン塩酸塩 14.3 略

（ ）部：自主改訂）

《改訂理由》

14.2 配合変化

本剤とロラゼパムとの配合により、配合変化を生じることからロラゼパムを配合禁忌としました。

製品情報お問い合わせ先

MSD カスタマーサポートセンター
 医療関係者の方：フリーダイヤル 0120-024-961
 ＜受付時間＞9:00～17:30（土日祝日・当社休日を除く）

2025年10月
 改訂連絡番号：25-11

MSD 株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北 1-13-12
 ホームページ <https://www.msd.co.jp/>